

平成 25 年度 東成区 区政運営の振り返り（にぎわい・きずな部会）

☆経営課題ごとの取組実施状況☆

経営課題 1 区民主体の地域経営・公共サービスの推進

多様な世代の区民や地域団体、NPO、企業などが地域コミュニティに参画し、地域課題の解決、地域の維持・発展に取り組む、継続・発展可能な地域経営の仕組みとする必要がある。

○主な戦略・具体的な取組内容

【1－1 区民主体の地域経営の仕組みの構築】

若い世代やマンション住民をはじめ、多様な世代が参画して、区民が地域を経営し、地域の課題解決・発展のために活動する小学校下をベースとした組織の仕組みをつくる。

①地域活動協議会に対する財政的支援事業（予算額 17,491 千円）**業績目標**

- ・ 地域活動協議会のうち、市の財政的支援を地域の実情に即して活用できていると感じているものの割合：平成26年度までに100%

取組実績

- ・ 区内全11校下の地域活動協議会に補助金を交付し、広く住民全般を対象とした市民活動が包括的に行われた。（業績目標測定は26年8月頃予定）

目標
達成

**課題と改善策等**

- ・ 【課題】地域活動協議会の認知度を高めるため、各種媒体を活用した情報発信を行い、地域コミュニティ機能のさらなる向上を図る必要がある。
- ・ 【改善策】地域自らが情報発信を行い、周知する重要性を認識してもらうよう促す。区役所もホームページをはじめさまざまな機会を活用して、地域活動協議会の情報発信の取組みを強化する。また、引き続き、各地域活動協議会へ民主的で開かれた組織運営と会計の透明性を確保しつつ、活動内容を指定せず財政支援を行うことで、自律的な地域運営を促進し、地域コミュニティの機能を向上させる。

②自律的な地域経営の仕組みの支援〔予算額 1,000 千円〕

業績目標

- ・ 地域活動協議会への支援を中間支援組織の活用を図りながら行った校下：11校下
- ・ 周知・認知度向上プロモート支援として補助金を活用した校下：5校下

取組実績

- ・ 中間支援組織を活用し地域活動協議会へ支援を行った：11校下
- ・ 周知・認知度向上プロモート支援として補助金を活用：6校下
- ・ ①宝栄地域活動協議会『エッセイ募集』
- ・ ②今里・③深江まちづくり活動協議会『広報紙（誌）の作成』
- ・ ④中道地域活動協議会『子どもをターゲットにまつり』
- ・ ⑤東中本まちづくり活動協議会『子どもターゲットの防災取組』
- ・ ⑥北中道地域活動協議会『ハロウィンパーティーの実施』

目標
達成

課題と改善策等

- ・ 【課題】主体的な地域運営を更に推進するため、地域活動協議会の周知・認知の向上と新たな担い手の確保が必要である。
- ・ 【改善策】事業の企画や運営を通じて幅広く人材育成を支援するため、地域の特性や実情に応じて、中間支援組織の活用を図りながら、引き続き初期プロモート事業実施を支援する。〔26年度運営方針に反映〕

③区政会議運営事業〔予算額 763 千円〕

業績目標

- ・ 区政会議の認知度：区民モニターアンケートで60%以上

取組実績

- ・ 区民モニターアンケート結果 46%
- ・ 全体会議の開催：2回、部会未開催

課題と改善策等

- ・ 【課題】区政会議に対する認知度が低く、部会も未開催。
- ・ 【改善策】区政会議の周知を強化するとともに、区民の関心を高めるため内容を公表し透明性を高める。また、部会を開催し、より具体的な区民の意見を収集する場を設ける。〔26年度運営方針に反映〕

【1-2 公共サービスの民間委託、情報流通・資金流通の仕組み構築による CB/SB 等の支援】

区事業を民間委託し、区民が福祉、教育、医療などの公共サービスを行い、収入を得られる事業化を支援する。また、地域活動協議会などの区民の組織や商業等の事業者など、区民が情報を掲載し、情報・活動資金を得られる仕組みをつくとともに、ボランティア活動の活性化を目的に導入する地域通貨により、区内で資金が流通する仕組みをつくる。

① 区民、市民が大きな公共を担う社会づくり提案制度事業【予算額 1,200 千円】

業績目標

- ・ 区民からの提案件数：3件以上

取組実績

- ・ 提案募集未実施
- ・ 学識経験者等との意見交換会、他都市事例調査、制度構築に向けての課題整理を実施

課題と改善策等

- ・ 【課題】任意団体との契約締結や選考過程における透明性の確保など、契約プロセスにおいて課題がある。
- ・ 【改善策】公平性・公正性・透明性の高い契約を行うためには、より綿密な制度設計の必要性があり、先進事例等を参考に制度を見直し、事業を再構築して実施する。[26年度運営方針に反映]

③暮らしの共助ポータルサイト事業【予算額 5,818 千円】

業績目標

- ・ 参加事業者数：10事業者 <チャレンジ目標：20事業者>

取組実績

- ・ 事業者公募未実施
- ・ 官民連携手法導入の可能性調査、国の先導的官民連携支援事業補助金への申請、仕組みの構築に向けて課題整理を実施

課題と改善策等

- ・ 【課題】「暮らしの共助ポータルサイト」の構築・運営についての可能性調査を行ったところ、ポータルサイトの構築・運営事業のみによる事業採算性は厳しいとの結果が出た。
- ・ 【改善策】公共的活動等を行う資金を得られる仕組みに主眼を置くのではなく、人と人のつながりが深い東成区の地域特性を生かして、人・情報・物等の資源が集まる「ふれ愛パンジー」を活用した情報受発信機能の強化を図り、地域活動の活性化をめざす。[26年度運営方針に反映]

経営課題2 区民との連携・協働によるまちづくりの推進

区役所と区民の協働による、まちづくりの取り組みをより効果的に進めるために、区民による地域活動や情報交流などの場と機会を充実させ、活動の活性化を図る必要がある。

○主な戦略・具体的な取組内容

【2-1 安全・安心なまちづくり】

区民や区役所、警察署、消防署、企業・事業所、医療機関、学校など関係機関等が連携して、災害や事故など市民生活に影響を与える様々なリスクに対処する仕組みづくりを行うことにより、総合的な危機管理機能を拡充する。

① 防災対策事業〔予算額 2,124 千円〕

業績目標

- ・ 地域と連携した防災訓練の実施：11回（全11地域）

取組実績

- ・ 9月1日の防災の日ほかで、区内全11地域で震災訓練を実施。
- ・ 災害時応急対策強化に繋げるために、地域の防災訓練と連携して、区職員防災訓練を実施。また、各地域の訓練には区医師会から医師を派遣するなど、防災関係機関と一体となった震災訓練を実施。

目標
達成



課題と改善策等

- ・ 【課題】現在の地域訓練は、避難所開設など初期初動対応が中心。そのため、中長期の避難生活に備えた、避難所自主的運営を意識した訓練になるよう工夫が必要。
- ・ 【改善策】地域や関係機関等と連携して、中長期の避難所生活に備えた避難所運営訓練などを実施し、災害時の応急対策の強化を図る。[26年度運営方針に反映]

② 子ども防犯対策事業〔予算額 860 千円〕

業績目標

- ・ 犯罪に対する対応方法を知っている子どもの割合80%以上

取組実績

- ・ 犯罪に対する対応方法を知っている子どもの割合98%（※防犯教室実施後のアンケート集計）
- ・ 小学校の児童及び保護者を対象に、防犯アンケートを実施。区内8小学校で、地域安全担当職員が主体となり、子ども自身が自分の身を守るための実践的な子ども防犯教室を開催。子ども自身の防犯能力を高めるために「子ども防犯ハンドブック」を作成し、区内全小学生に配布した。

目標
達成



課題と改善策等

- ・ 【課題】防犯教室ではアンケートで要望が多かった留守番時の対応を組み入れて実施したが、引き続き、児童、保護者等のニーズを反映しながら、子ども自身の危機管理・対応能力の向上を図っていく必要がある。
- ・ 【改善策】子どもが犯罪に巻き込まれそうになった時の逃げ方など、実技をより多く取り入れるような改善を加え、26年度も継続して区内小学校で実践的な子ども防犯教室を開催する。[26年度運営方針に反映]

③ 地域安全対策事業〔予算額 1,417 千円〕

業績目標

- ・ 防犯対策を行っていると感じた区民の割合60%以上
- ・ 交通安全に心がけていると感じた区民の割合70%以上

取組実績

- ・ 防犯対策を行っていると感じた区民の割合74%
- ・ 交通安全に心がけていると感じた区民の割合76%
- ・ 区内公園等で、ひったくりや自転車盗難防止のキャンペーンなど、防犯意識の向上に向けた取組を実施（51回）
- ・ 安全・安心ミニフェスタを開催（2回 計約500人）
夏と春に区役所や区民センターで、警察署・消防署等の関係機関と連携して、子どもと親を対象に安全・安心啓発事業を実施。
- ・ 毎月1回安全安心の広報紙発行。学校園や地域のふれあい喫茶等で配布

目標
達成

課題と改善策等

- ・ 【課題】大規模集客が見込める、安全安心ミニフェスタの開催や各種キャンペーンなど、子ども防犯対策を中心に防犯対策を強化しているが、一方で、車上荒らし等が増加し、街頭犯罪はなかなか減少していない。
- ・ 【改善策】安全安心ミニフェスタでは、親と子どもなど啓発を行う相手を明確にして、より効果が上がるように内容と広報に工夫を加えた啓発を実施する。[26年度運営方針に反映]

④ 市民協働型自転車利用適正化事業〔予算額 8,747 千円〕

業績目標

- ・ 市民協働による啓発活動の参加者数：500人
- ・ 駅前さわやかミーティングが取り組んだ啓発活動：15回

取組実績

- ・ 市民協働による啓発活動の参加者数：750人
- ・ 駅前さわやかミーティングが取り組んだ啓発活動：31回
- ・ 毎月1回さわやかミーティング定例会を開催。区内の放置自転車問題解決の対策やアイデア・企画などを検討。市民協働による啓発活動を関係機関等とも連携し区内各所で実施。集客イベント（区民まつり）などにおいても自転車マナー啓発に取り組んだ。
- ・ 有償ボランティアによる鶴橋駅周辺、区内を巡回する啓発活動を実施。

目標
達成

課題と改善策等

- ・ 【課題】放置自転車問題を市民主体で解決する機運醸成が図られ駅前周辺の台数は減少。しかし、歩道が狭く通行障害が生じている駅前や通学路・マンション前などにおける放置自転車問題が顕在化している。
- ・ 【改善策】通学路やマンション前など多様化する放置自転車問題の解決を図るため、地域住民、関係機関、鉄道事業者に加え、商店街や学校、PTA、企業などとの連携強化を図り事業を継続する。

⑤ 相談・調整機能の充実〔予算額 ー 〕

業績目標

- ・ 関係局等との連携によって取り組んだ事例：1件以上

取組実績

- ・ 関係局等との連携によって取組んだ事例：23件
- ・ 行政連絡調整会議の開催：12回
- ・ 行政連絡調整会議小会議の開催：11回

目標
達成

課題と改善策等



ルカちゃん

【2-2 地域のまちづくり活動の支援】

個別の地域課題解決に向け、区民や区内の各種団体がこれまでの枠組みにとらわれず連携し、協働しながらさらに自由に活発な活動ができるよう支援する。

さらに、区域・市域を越えた広域的な市民ネットワークによる地域資源の発掘を行う。

①市民協働ネットワーク形成支援事業【予算額 522 千円】

業績目標

- ・「ふれ愛パンジー」でのネットワーク形成支援による地域活動数：50事例

取組実績

- ・「ふれ愛パンジー」での活動数：87事例
- ・ふれ愛パンジーの在り方や機能の検討、レイアウト変更の実施。区民との意見交換会、説明会（5回）、ラウンドテーブル（5回）区民向けセミナー「パンジートーク」（8回）等の開催

目標
達成



課題と改善策等

- ・【課題】ふれ愛パンジーで人材交流を促進するには、気軽に集まることができ、つながりづくりをコーディネートする仕組み作りが課題である。
- ・【改善策】ふれ愛パンジー利用登録団体がニーズやシーズを発信できる掲示板を設置し、団体間のマッチングを図れる仕組みをつくる。[26年度運営方針に反映]

②広域的な市民ネットワークによる地域資源発掘事業【予算額 5,378 千円】

業績目標

- ・隣接市等との連携事業数：5件

取組実績

- ・隣接市等との連携事業数：5件
- ・大阪アドプト・リバープログラムによる河川周辺の清掃活動（5回）
- ・ひがしなり街道玉手箱の開催（11月）
- ・鳥取市、八頭町、徳島県、三重県、八尾市との連携イベントの開催
- ・わが町工場見てみ隊工場見学会の開催（2回・区内のみ）

目標
達成



課題と改善策等

- ・【課題】広域的な市民ネットワークを形成し、持続させるためには、日常的に交流できる仕組みが必要である。
- ・【改善策】交流の場であるふれ愛パンジーを活用し、ひがしなり街道玉手箱等の交流機会を提供することで、日常的に交流できる環境作りをめざす。[26年度運営方針に反映]

③種から育てる地域の花づくり支援事業〔予算額 880 千円〕

業績目標

- ・ ボランティアの年間活動延べ人数：200名
- ・ 各校下単位でボランティアグループを形成：各校下1グループ

取組実績

- ・ ボランティアの年間活動延べ人数：400名
- ・ 各校下単位でボランティアグループを形成：11校下中8校下.
- ・ 既存、片江・大成小学校の拠点に加え、南深江公園での花苗育成に取り組み、学校9箇所、公園2箇所、その他施設2箇所へ花苗の提供を行った。

課題と改善策等

- ・ 【課題】ボランティアの活動拠点が小学校内であることから狭隘であるため、活動拠点の拡充が課題である。
- ・ 【改善策】平成25年度、新たに南深江公園内の拠点設置の環境が整ったため、小学校以外での事業展開も含め、活動拠点の拡充を図る。

⑤未来わがまち推進会議を要とした区民主体のまちづくり活動への支援事業〔予算額 964 千円〕

業績目標

- ・ わがまちフォーラムの参加者数：100人
- ・ 未来わがまち推進会議メンバー数：145人

取組実績

- ・ わがまちフォーラムの参加者数：72人
- ・ 東成区未来わがまち推進会議メンバー数：124人
- ・ 全体会(6回)、勉強会(4回)、班会議(16回)、区民まつりでの広報活動、アドボカシープログラム活用の平野川沿岸清掃活動(5回)を実施

課題と改善策等

- ・ 【課題】わがまちビジョンの目標の一つを達成するなど、区民の創意工夫により活動を推進しているが、活動を持続するための財源の確保が課題である。また、10年の節目を迎えるにあたり、今後の会議のあり方を検討していく必要がある。
- ・ 【改善策】民間等の助成制度の活用を検討するなど、自主・自立に向けた、新たな手法による活動を検討する。

【2-5 人権尊重のまちづくり】

東成区人権啓発推進協議会と連携し、各校下の人権啓発推進員を中心とした各校下に根差した人権啓発活動を進めていく。

① 人権啓発推進事業〔予算額 1,120 千円〕

業績目標

- ・各事業におけるアンケート調査にて、「人権意識が高まった」と回答する参加者：60%

取組実績

- ・「人権意識が高まった」と回答する参加者：77%
- ・人権啓発推進員連絡会 毎月開催
- ・区内に在住・在学の小学生を対象に人権標語を募集、各小学校単位で12月人権週間の際に表彰を実施。標語は啓発物品に記載し、人権啓発に活用
- ・人権映画会（ヒューマンシアター）（3月）に開催

目標
達成



課題と改善策等

- ・【課題】人権意識向上のために、粘り強く活動していく必要がある。
- ・【改善策】人権啓発推進員や地域住民と検討し、人権週間、人権映画会などのイベントや日々の啓発活動で、広く長く伝わるように啓発活動を行う。



かさずきん

経営課題 3 区役所力の強化

職員の意識改革、スキルアップとともに、区民の意見を施策・事業等に反映させる仕組み、区民が区政をチェックする仕組みが必要である。

○主な戦略・具体的な取組内容

【3-1 区政運営、区政評価の仕組みの構築】

地域の代表からなる区政会議や区民と区長のタウンミーティング等により、多様な区民の意見を収集し区政に反映させるとともに、区民による区政の満足度評価や外部評価を実施する。

① 区政会議運営事業〔予算額 763 千円〕（再掲）**業績目標**

- ・ 区政会議の認知度：区民モニターアンケートで60%以上

取組実績

- ・ 区民モニターアンケート結果 46%
- ・ 全体会議の開催：2回、・ 部会未開催

課題と改善策等

- ・ 【課題】区政会議に対する認知度が低く、部会も未開催。
- ・ 【改善策】区政会議の周知を強化し、関心を高めるため内容の公表等を強化する。部会を開催し、より具体的な区民の意見を収集する場を設ける。[26年度運営方針に反映]

② 区民モニター〔予算額 891 千円〕**業績目標**

- ・ 区民モニターの回答率：50%

取組実績

- ・ アンケートの実施：1回目76%、2回目66%、3回目59%

課題と改善策等

- ・ 【課題】アンケートの回答結果等については、区民モニター以外にはあまり知られていない。
- ・ 【改善策】アンケート結果については、ホームページや広報紙等で広く周知していく。

目標
達成



③ 区民と区長のタウンミーティング〔予算額 ー〕

業績目標

- ・ 区民と区長のタウンミーティングにおける参加者の満足度：70%以上

取組実績

- ・ 満足度 76%（区長タウンミーティングの開催：30回）

目標
達成

課題と改善策等

- ・ 【課題】タウンミーティングの参加者が少なく、固定化傾向にある。
- ・ 【改善策】地域の会議やイベントの場を活用するなど運営方法を工夫する。[26年度運営方針に反映]

④ 区民サービスの向上と効率的な業務運営〔局予算額 22,980 千円（市民局予算）〕

業績目標

- ・ 来庁者への窓口サービス満足度調査による満足度：90%以上

取組実績

- ・ 満足度調査 4月 98%、5月 99%
- ・ 投票による満足度調査を、5月まで実施
- ・ 8月以降は、より具体的な意見を聴取するため、意見に対する回答とともに庁舎内に掲示し、対応の見える化を図った。

目標
達成

課題と改善策等

- ・ 【課題】8月以降に実施している意見聴取は満足度を計る指標としては不十分である。
- ・ 【改善策】区民ニーズに即した窓口サービスの向上に努める必要があるため、満足度調査の方法を見直す。[26年度運営方針に反映]

⑤ 広報事業の充実〔予算額 10,941 千円〕

業績目標

- ・ 広報の満足度：70%以上

取組実績

- ・ 区民モニターアンケート結果 満足度 59%
- ・ 5月から広報板の活用開始、8月より区HPトップページの改修し、広報紙最終面を全面地域情報ページとした。

課題と改善策等

- ・ 【課題】 広報紙の紙面に読みやすさ、わかりやすさが求められている。
- ・ 【改善策】 広報紙の満足度を高めるため、区民や民間の提案を取り入れ、区民のニーズに合致した紙面づくりを行う。[26年度運営方針に反映]

⑥ 相談・調整機能の充実〔予算額 — 〕（再掲）

業績目標

- ・ 関係局等との連携によって取り組んだ事例：1件以上

取組実績

- ・ 関係局等との連携によって取り組んだ事例：23件
- ・ 行政連絡調整会議の開催：12回
- ・ 行政連絡調整会議小会議の開催：11回

目標
達成



課題と改善策等

⑦ 行政区のブロック化に向けた検討〔予算額 — 〕

業績目標

- ・ 区民への説明会での理解度：60%

取組実績

- ・ 未測定
- ・ ブロック単位での行政運営の実現には区割り等の決定が必要であるが、大阪府・大阪市特別区設置協議会において議論されているため、取組は実施できなかった。

課題と改善策等

【3-2 改革を担う職員、職場風土づくり】

研修、OJT等により区民目線の習得、役割と責任の意識、経営意識、行動変革を徹底、目標達成・実現力のあるスキルの習得を図る。

① 改革を担う職員と組織風土づくり〔予算額 ー〕

業績目標

- ・ 区長研修における職員の満足度：70%以上

取組実績

- ・ 満足度 57%
- ・ 東成区職員向上基本プランの策定
- ・ 区長研修の実施：3回

課題と改善策等

- ・ 【課題】更なる職員のモチベーションアップにつながるよう研修内容を検討する必要がある。
- ・ 【改善策】受講者アンケートを分析し、内容の改善、充実を図る。

① 改革を担う職員と組織風土づくり〔予算額 ー〕

業績目標

- ・ 区長表彰への推薦人数：5人以上

取組実績

- ・ 推薦事例：1件
- ・ 所属内改善事例発表会の実施

課題と改善策等

- ・ 【課題】事例の推薦方法が柔軟でないことや区長表彰制度の理解度・認知度が低い。
- ・ 【改善策】推薦対象範囲の見直しや、区長と職員との意識共有の場を設け、その意義を伝えることで、推薦事例増につなげる。

【3-3 積極的な情報発信等による地域活動支援】

身近な行政単位である校区等地域における市民活動の支援を行う地域担当制を強化するとともに、区役所の相談・調整機能を充実させる。

また、地域の多様な主体による活動を支えていくため、人材、資金、ノウハウなどの地域活動に関する様々な情報を収集・把握し、広く発信するとともに、地域活動に関心のある市民と市民活動団体とのマッチングといったコーディネート機能を充実するなど、地域活動を総合的に支援していく。

① 地域担当制の充実〔予算額 ー 〕

業績目標

- ・ 地域情報を得るため、地域で開催される会議への参加：11校下各12回、132回

取組実績

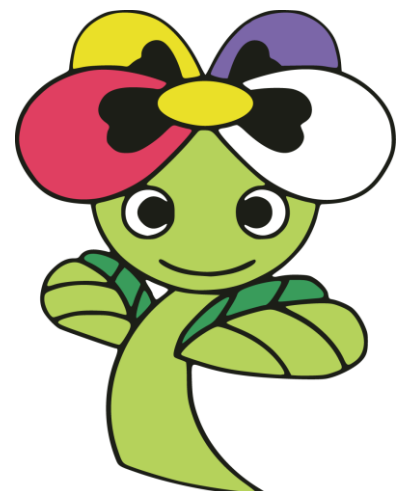
- ・ 各校下への会議等参加：132回以上
- ・ 各校下の地域担当者が地域で開催される会議等へ参加し、課題等を収集した

目標
達成



課題と改善策等

- ・ 【課題】地域課題に対し区役所が十分な支援を行えるよう、すべての区職員が地域を意識する土壌を醸成する必要がある。
- ・ 【改善策】全職員が区内全域の地域情報を共有できるようにし、業務との関連を検討するなど、さらに地域への関心向上をめざす。



ふれんじー